

事務事業名 健康づくり推進事業

出力日：令和04年03月24日

キーコード：354

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040104-01-00
基本事業：	02	生活習慣の改善とこころの健康づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上運動をする市民の割合 定期的に歯科検診を受けている市民の割合 喫煙している市民の割合 睡眠・休養がとれている市民の割合		担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成14年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			健康増進・介護予防関連の運動事業 市健康運動指導士が健康づくり運動サポーターの会と連携しながら推進している。 地域型健康づくり講座（軽運動、ウォーキング、筋トレ） R2：7回にて全7講座、計56回、延904人、資料代300円 高齢者健康学級（ロイヤルシフトロームの啓発と実践） R2：14回（シニアクラブ等にて開催）、延172人 包括支援センター担当のみ実施 万葉の里ちくしのウォーキング事業 11月開催（5コース設定） R2：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・健康づくり運動サポーターの会へ一部事業委託 筑紫野市健康づくり推進協議会：委員19名（小委員会9名）、 R2：1回/年（2回は中止） ・健康推進に係る企画立案、啓発、健康川柳の募集・選考・表彰 等							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
・健康づくりのための運動等に取り組む人を増やし、生活習慣病予防や介護予防に繋げる。 ・市民の健康づくりを積極的に推進するために協議会を設置し、健康づくりのための企画立案や広報活動等を通して、市民協働の健康づくりを推進する。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
健康づくり運動サポーター活動回数		回	169	70	180	180			180	
延べ参加者数		人	4,752	1,076	4,800	4,800			4,500	
5. コスト										
事業費		計	千円	5,132	5,712	7,024	7,682			
		国	千円			0	0			
		県	千円			0	0			
		地方債	千円			0	0			
		その他	千円	72	40	90	413			
一般	千円	5,060	5,672	6,934	7,269					
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4					
正職員人件費		千円	3,226	3,212	3,168					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	8,358	8,924	10,192	7,682				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	<状況> 健康づくり運動サポーターの活動回数は令和元年度より99回減少し70回となっています。延参加者数は令和元年度より3672人減少し1076人です。 <原因> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域型健康づくり講座及び万葉の里ちくしのウォーキングを中止したことが原因です。 <課題> 地域型健康づくり講座参加者が固定化してきているため、新規の参加者を増やす必要があります。また、家庭での運動習慣が確立できるよう講座内容を見直す必要があります。									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	万葉の里ちくしのウォーキングは、健康づくり運動サポーターの会に一部委託し実施しているが、当日の参加者の安全のための人員を確保することが困難となってきている。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
・地域型健康づくり講座は、運動サポーターの育成を強化し、質の担保に努める。また、周知方法を工夫し、新規参加者を増やす。 ・万葉の里ちくしのウォーキングの周知方法、ウォーキングコースごとの内容を見直す。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
・H14年度より健康運動推進を図る為、健康運動指導士を嘱託雇用し、H24年度より2名体制で対応。 ・地域の健康づくりを市民の力で推進するための支援者として、H18年度より「健康づくり運動サポーター」の養成を開始。H22年4月に「健康づくり運動サポーターの会」が設立。						・健康づくり運動サポーターの養成・育成に関する事業については、H28年度より「健康づくり人材育成事業」へ移行しました。				